

地職住推進機構

小林 篤司 (徳島生まれの徳島育ち)

メール:kobayashi@chishokuju.com

FaceBook:小林篤司で検索



地職住推進機構



(株)海苔漁師



略歴
徳島大学卒業後、大学ベンチャーとして(有)MNLを設立、取締役社長に就任。その後、株式会社SPEC、(有)デジトロニクスのCIOを就任し、IT分野と経営をつなげる仕事に奔走する。平成23年には、新たに(株)海苔漁師を設立、同社の代表取締役に就任し、田舎と都会をつなげる仕事を開始。平成23年6月(株)海苔漁師は農林水産省6次産業化計画の第1次認定企業にもなっている。様々な地域マネージメントに関わっていることから、平成23年8月より上勝町地職住推進機構の設立準備室 室長として町役場で公務員として働き、平成24年3月には独立法人化、一般社団法人地職住推進機構を設立し代表理事に就任。現在は、地域経営をテーマに活動中。

目指すべきもの ~Mission Statement~

“地域資源”を活用し、“職”創り、“住”める地方を創造する。また、上勝町のゼロ・ウェイスト達成に貢献する

企業沿革 ~The History~

- 2011.06 上勝町より新しい公共事業(※1)のプロジェクト依頼
- 2011.08 エネルギーと宅配事業の開始
- 2012.03 一般社団法人地職住推進機構設立
- 2012.07 新しい公共・共同商店事業開始
- 2013.01 上勝百貨店をオープン

企業情報 ~Profile~

一般社団法人 地職住推進機構

2012年3月30日設立

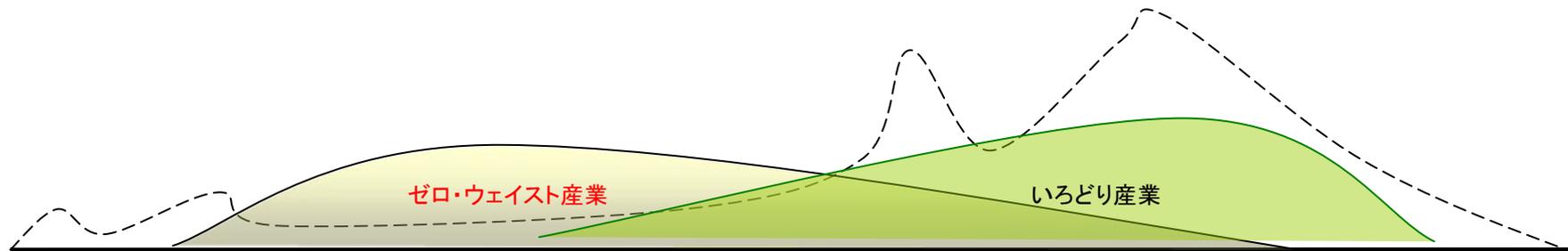
代表理事 小林篤司

〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字下日浦18-1

☎0885-46-0275 ✉info@chishokuju.com



地職住推進機構が推進する“環境”を含むゼロ・ウェイスト事業



上勝町は、四国徳島県の勝浦郡に位置しており、徳島市中心部から車で約1時間程の場所にある。

地域資源の活用と持続可能な地域づくり

人口は**1,840名863世帯**(平成25年10月1日現在)、高齢者比率が**52.4%**(平成23年11月)という、**徳島一の高齢化**、**過疎化が進む町**。



日本を代表するローカルビジネスモデル “いろいろ”

- ・どこにでもある葉っぱをお金に変えた
- ・葉っぱは軽量のため、他の農業と比べて高齢者でも取り組み易い
- ・高齢者によるPC(インターネット)の利用
- ・高齢者に居場所と出番、生きがいを与えた地域活性化ビジネスのロールモデル



「ゼロ・ウェイスト」
 英単語の「ZERO」と「WASTE」から成り、「ごみ」「無駄」「浪費」が「ゼロ(ない)」という状態を意味する。上勝町は2002年に「2020年」までに上勝町のごみをゼロにするという目的を立て、ゼロ・ウェイストの推進に努めている。

ゼロ・ウェイスト → 日本初のゴミゼロ宣言 3Rの徹底 日本一のポテンシャル

上勝町資源分別方法

2010年 3月発行

毎日の収集 場所・日比ヶ谷ゴミステーション
 時間・毎日 午前7時30分～午後2時まで
 (年末年始は 12月31日～1月2日まで 休まず)

古紙類

- ① アルミ缶: 洗って乾かす。つぶさない。
- ② スチール缶: 洗って乾かす。
- ③ スプレー缶: 中身を使い切る。必ず穴をあけて乾かす。
- ④ 金属製キャップ: 洗って乾かす。
- ⑤ 透明びん: 洗って乾かす。
- ⑥ その他のびん: リサイクルびん(リサイクルびん) 洗って乾かす。
- ⑦ その他のガラス類: 洗って乾かす。
- ⑧ 乾電池: アルカリ・マンガン・ニッケル・ニカド・鉛電池
- ⑨ 蛍光灯: 割れた蛍光灯
- ⑩ 電球
- ⑪ 乾電池
- ⑫ 乾電池
- ⑬ 乾電池
- ⑭ 乾電池
- ⑮ 乾電池
- ⑯ 乾電池
- ⑰ 乾電池
- ⑱ 乾電池
- ⑲ 乾電池
- ⑳ 乾電池
- ㉑ 乾電池
- ㉒ 乾電池
- ㉓ 乾電池
- ㉔ 乾電池
- ㉕ 乾電池
- ㉖ 乾電池
- ㉗ 乾電池
- ㉘ 乾電池
- ㉙ 乾電池
- ㉚ 乾電池
- ㉛ 乾電池
- ㉜ 乾電池
- ㉝ 乾電池
- ㉞ 乾電池
- ㉟ 乾電池
- ㊱ 乾電池
- ㊲ 乾電池
- ㊳ 乾電池
- ㊴ 乾電池
- ㊵ 乾電池
- ㊶ 乾電池
- ㊷ 乾電池
- ㊸ 乾電池
- ㊹ 乾電池
- ㊺ 乾電池
- ㊻ 乾電池
- ㊼ 乾電池
- ㊽ 乾電池
- ㊾ 乾電池
- ㊿ 乾電池

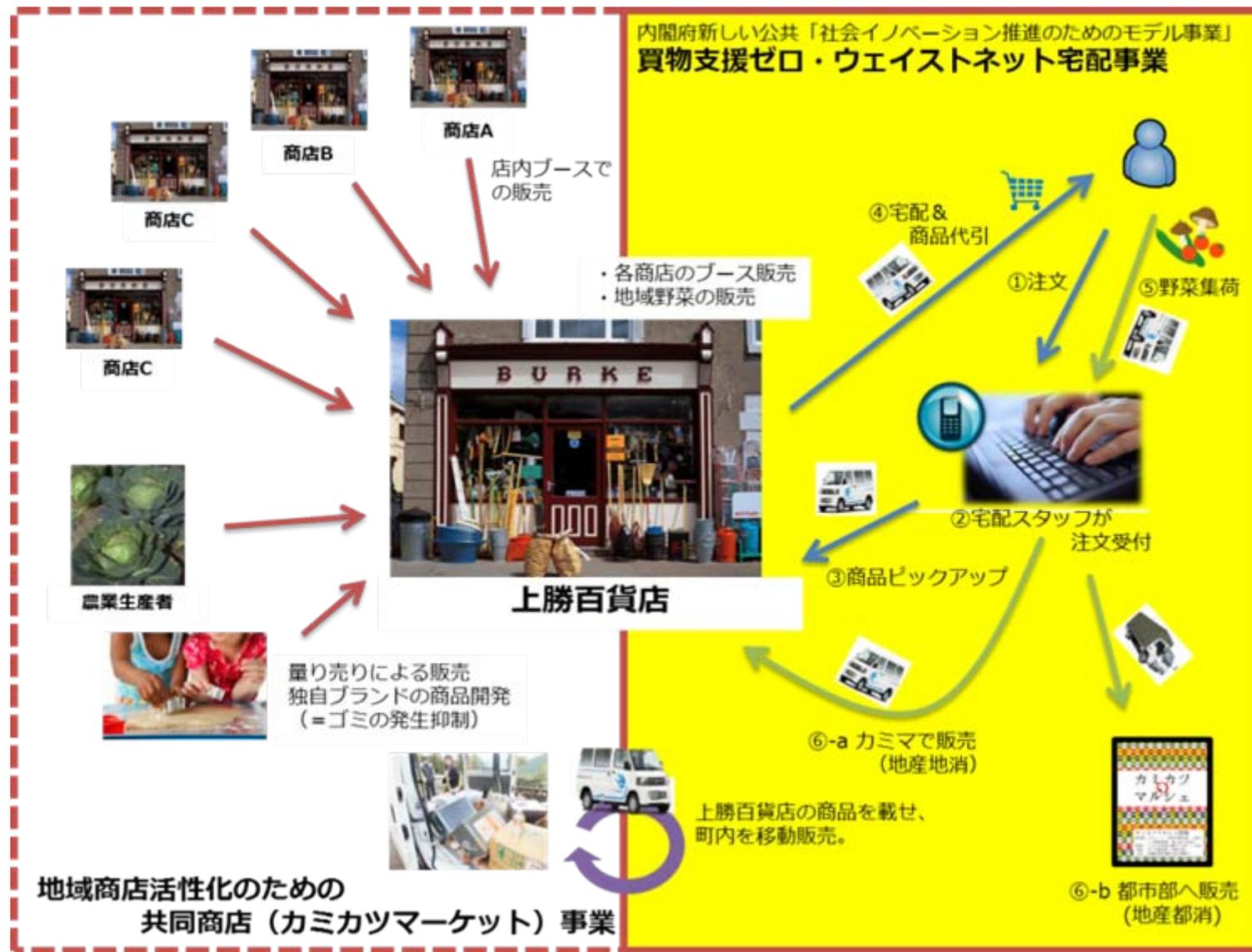
毎週日曜日の収集物
 午前7時30分～午後2時まで

- ⑳ 廃タイヤ・廃バッテリー: 1台車に100個
- ㉑ 粗大ゴミ: 洗濯機、冷蔵庫、エアコン、テレビ、洗濯機、掃除機、電扇、扇風機、除湿機、加湿器、空気清浄機、電子レンジ、炊飯器、圧力鍋、電子レンジ、炊飯器、圧力鍋、電子レンジ、炊飯器、圧力鍋
- ㉒ 家電製品: 冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ、洗濯機、掃除機、電扇、扇風機、除湿機、加湿器、空気清浄機、電子レンジ、炊飯器、圧力鍋
- ㉓ 生ゴミ: ごみ袋で 3層梱包
- ㉔ 農業用廃ビニール・農薬のびん等: 農薬袋で 3層梱包

WASTE



上勝町にゴミ収集車はゼロ (住民全員がゴミステーションに持参)
 分別は脅威の34分類を自分が行う (細かくすれば50種類以上)
 くるくるショップ...誰でも無料で持って帰ることができる(持ち込みは町民のみ)





地域住民を交えて勉強会



試験的に使用したリターナブル容器



生活用品の量り売り販売-引き売り-



引き売りのついでに野菜の集荷

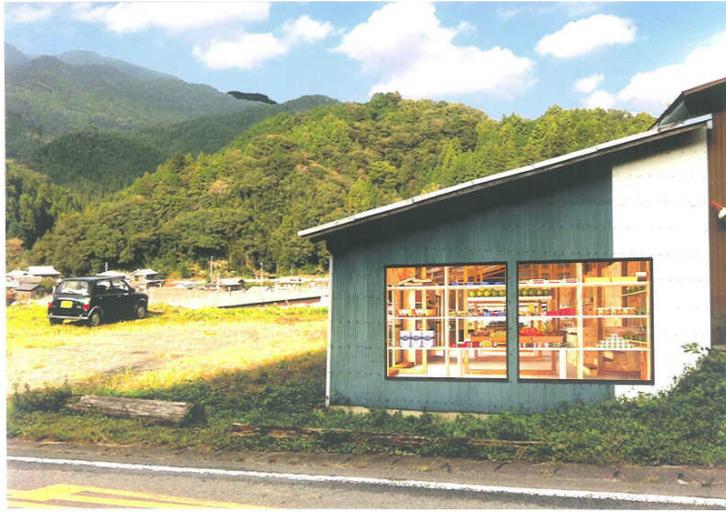


町内外・県外へマルシェ(収益性実験)

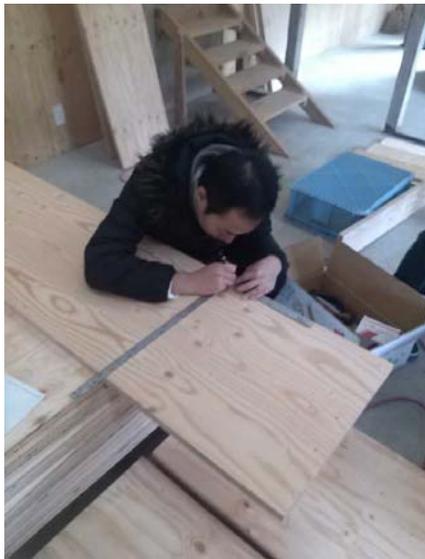


町内へ販売開始





地域資源の活用と持続可能な地域づくり



サスティナブル百貨店 上勝百貨店が**2013年1月20日オープン!!!**



2013年2月23日徳島新聞

「無駄ゼロ」の視点で買い物

「食料品量り売り」「上勝百貨店」

上勝町の委託を受けて、み減量につなげるため穀品を軽ワゴン車にのせて「無駄ゼロの町」づくり。物や調味料は量り売りし、町内を巡回する移動販売に取り組み一般社団法人「地職住推進機構」が同町 宅配・回収事業を行う拠りとして開設した店舗は休憩正木にオープンさせた「上勝百貨店」。食料品 た野菜や果物を農家から回収して店内で販売。商がでる。(山口和世)



店内には休憩スペースもあり、まきストーブの前でゆっくりくつろげる



店で販売するため、農家で作りすぎた野菜や果物を回収する地職住推進機構のスタッフ



店内には量り売りされる穀物や麺類などが入ったガラス瓶がずらり。客は必要な分量だけ購入することができる

早稲米



使われなくなった平屋倉庫を改装して開設された店舗



宅配とは別に週2回、軽ワゴン車で町内各地を回る移動販売。総菜や食料品を扱っている

